

1 個別事業計画一覧表（2）

<合計>

目標	メニュー	実施内容	事業実施主体	事業費 (千円)	国費 (千円)	地域 提案	備考
山地防災情報の周知				0	0		
森林資源の保護				13,252	6,626		
林業の多様な担い手の育成				4,446	2,223		
林業経営体の育成				0	0		

<個別事業計画>

森林資源の保護	森林資源保護の推進	抵抗性マツの植栽	兵庫県	550	275		苗木代439千円 植栽指導経費 111千円
森林資源の保護	森林資源保護の推進	野生鳥獣被害の監視、見回りの実施	兵庫県	12,702	6,351		4名配置 報酬 7,210千円 地域手当 438千円 期末手当 1,594千円 勤勉手当 1,339千円 共済費 1,763千円 旅費 358千円
林業の多様な担い手の育成	人材の確保・育成・定着	林業技術者研修及び事業体への雇用改善指導	(公財)兵庫県営 林緑化労働基金	1,996	998		研修開催経費 1,848千円 協議会開催経費 85千円 事業体指導経費 63千円
林業の多様な担い手の育成	人材の確保・育成・定着	林業事業体等への資質向上事業	県立森林大学校	2,250	1,125		研修開催経費 2,250千円
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	作業現場の点検パトロールの実施、労働安全衛生マネジメント推進	林防災兵庫県支部	200	100		指導事業経費 74千円 研修会開催経費 104千円 計画作成指導費 22千円

(注)

- 1 メニューについては、別表4に定める事項を記載すること。
- 2 実施内容については、森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策補助金等交付等要綱（平成30年3月30日付け29林政政第893号農林水産事務次官依命通知）別表2の2の経費欄に掲げる内容を踏まえ、わかりやすく簡潔に記載すること。
- 3 目標ごとに事業費及び国費の合計を記載すること。
- 4 地域提案事業は、個別事業計画ごとに地域提案の欄に「○」を記載すること。
- 5 実施地域及び項目ごとの積算基礎（実施数量、事業費の内訳）を備考欄に記載すること。
- 6 「林業経営体の育成」の実施内容、事業実施主体、事業費、国費及び備考欄については、林業機械リース支援を活用する事業実施主体ごとに記載することとし、実施内容欄については導入予定機械名及び台数を記載すること。また、機械の再貸付けを行うものにあつては、備考欄に「再貸付」と記入すること。

\* 行については、適宜加除のこと。

2 計画主体ごとに定める指標（全体指標）

目標	事業種目 (メニュー)	全体指標	指標設定の考え方 (目標との関連性)	現状値			目標値			備考
				数値	単位	年度 (西暦)	数値	単位	年度 (西暦)	
林業・木材産業の生産基盤強化	木質バイオマス利用促進施設の整備	地域材利用量(増加量・増加率)	木材利用の推進を図るため、地域材利用・木質バイオマス利用量の増加に資する施設等整備を実施する。	324,000	m <sup>3</sup>	R7 (2025)	375,000	m <sup>3</sup>	R12 (2030)	増加量 51,000m <sup>3</sup> 増加率 15.7%
		木質バイオマス利用量(増加量)		246,000	m <sup>3</sup>		248,000	m <sup>3</sup>		増加量 2,000m <sup>3</sup> 増加率 0.8%
山地防災情報の周知	山地防災情報伝達の総合的な推進									
森林資源の保護	森林資源保護の推進	抵抗性松の植栽本数	ひょうご元気松10万本植栽事業で植栽する計画植栽本数	4,000	本/年	R7 (2025)	4,000	本/年	R8 (2026)	
		野生鳥獣被害の監視、見回りを行う監視員の配置人数	監視、見回りを行う人数	4	人/年	R7 (2025)	4	人/年	R8 (2026)	
林業の多様な担い手の育成	人材の確保・育成・定着	素材生産量 新規就業者数	本対策による雇用の改善効果は新規就業者数に反映されるため	570,000 (R3-R5) 51 (R3-R5)	m <sup>3</sup> 人	R7 (2025)	581,000 30	m <sup>3</sup> 人	R8 (2026)	- 目標値 30人/年以上 (新規就業者数については、令和3～5年の平均値50人を現状値とし、目標値は「ひょうご農林水産ビジョン2030」の2025年度目標(中間目標)の30人とした)
	労働安全の確保	素材生産量 災害発件数(減少率)	本対策による労働災害防止の改善効果は、災害発件数(減少率)に反映されるため	570,000 (R3-R5) 28 (R3-R5)	m <sup>3</sup> 件	R7 (2025)	581,000 30	m <sup>3</sup> 件	R8 (2026)	- R2年を起点とし減少率20% (災害発件数については、令和3～5年の平均値28人を現状値とし、目標値は「兵庫県林業・木材産業構造改革プログラム(R3.3)」の目標値30人を採用した)
林業経営体の育成	林業経営体育成対策 (林業機械リース支援)									

(注)

- 1 目標単位での事業計画がある場合は、該当する全体指標について記載すること。
- 2 メニュー及び全体指標については、別表4に定める事項を記載すること。ただし、目標「林業の多様な担い手の育成」における全体指標の一部及び「森林資源の保護」における全体指標については、別表4を踏まえ、地域の実情に応じたものを設定すること。また、全体指標ごとに定める( )書き内の増加量、増加率等については備考欄に記載のこと。

\* 行については、適宜加除のこと。